

川田市長と

まちかど

開催報告

タウンミーティング

開催概要

日時: 令和7年1月25日(土)午後3時～4時

会場: 松花堂庭園・美術館 別館

参加者: 8名

テーマ: 子育て

タウンミーティングの流れ

- ① 開会
- ② 開催の目的と概要、こども・子育てを取り巻く環境について(課題整理)
八幡市で行っている子育て支援施策について、まとめ ※市長による説明
- ③ テーマについて意見交換 ※参加者と市長との意見交換
- ④ 閉会

【意見交換の主な内容】



参加者

出産は金銭的負担が大きい。無償で子供を出産でき、更なる支援があると嬉しい。そして、保育料の負担がしんどい。

京都市は令和7年度から2人目の保育料無償化が行われると報道がある。八幡市も子育て支援の更なる充実をお願いしたい。



市長

現在、八幡市も来年度予算に向けて、子育て支援充実のために何ができるか、議論しております。更なる子育て支援の充実に取り組んでまいります。



参加者

インフルエンザ等で学級閉鎖になった場合、子どもだけで家に置いとけない。そのような場合に預けることのできる場所や相談窓口があると嬉しい。

また、子どもが進路先を選択する時に、交通の便が悪いことが原因で、進路先の選択肢が狭まる。バスの本数が減少しているが充実を求めたい。

あと、子育て支援で今育てている子供たちの保護者だけではなく、出産費用の無償化、出産祝金が出るような形であると八幡市で子供を産んでみたいと感じる。このような視点で政策への取り組みをしてほしい。



市長

学級閉鎖や夏休みなど、長期のお休み期間充実のご意見も伺います。預け先に困ったときの問い合わせ先についても大事であると思います。まちによっては、共通アプリを導入し、利便性を上げられている事例もあります。他市の事例を参考に考えてまいりたいと思います。

バス(公共交通)の充実をご指摘いただいた通り、お困りになっている方が多いです。最近特に減便が激しいです。

現行の、コミュニティバス路線は約10年前、民間バス路線が走行していないところを走行するという形で設定されました。現在、根本的な見直しをしているところです。



参加者

八幡第二幼稚園跡地は体育館を高齢者の方の卓球場等で活用されている。

八幡幼稚園の跡地についての活用方法をお聞きしたい。



市長

八幡幼稚園跡地は、周辺に行政関係の建物(八幡小学校やシルバー人材センター)があります。現在、それら一帯を含めた今後の整備方針について、検討を行っているところです。



参加者

市は市民から税金をとり、補助金などを支出する。
このような行為は無駄であり、税金をとらないようにできないのか。
八幡市で色々な事業をしていると伺ったが、どれも参加したいと思わない。
無駄な事業を削れば年間、億単位で削減可能。
無駄な事業をどんどん削ってほしい。



市長

市の事業は、市のみで行っているものもあれば、民間事業者と連携した事業、国の補助がある事業など様々です。
幅広い世代の方々に、サービスの提供をお届けできるよう、バランスを考えながら、予算計上、事業形成を考えてまいります。



参加者

昔は、出産費用や保育料などに補助など無かったが労働環境が良く、給料で賄えた。労働環境を改善すべき。
また、地域の繋がりで見てもらえたが、今は地域の繋がりが無い。
子育てする親の負担軽減のため、私は孫の世話をすることがある。そのため子育てに協力する高齢者にも市から支援を考えてほしい。



市長

本日、色々な世代の方からご意見をお伺いできてよかったと思います。
労働環境の変化や、社会保険料の負担が大きいですと感じています。
地域コミュニティ、家族の形態は日々変化しています。そのため、タウンミーティングなどで市民の皆さまからご意見をお伺いし、こういったお悩みに寄り添い、サービスの更なる充実に向けて頑張っております。